

科目名	原価計算				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2022年度 前期	単位数	2		
担当教員	大和田 久男				
内容および計画	本講義では、1年次の「工業簿記」の学習内容を踏まえて、製造業で適用される工業簿記について、大量見込生産を行う製造業で用いられる総合原価計算、原価管理を主眼とする標準原価計算、短期利益計画において利用される直接原価計算を中心に学習する。				
1	ガイダンス／個別原価計算（勘定連絡）				
2	本社・工場会計				
3	総合原価計算①（単純総合原価計算①概要）				
4	総合原価計算②（単純総合原価計算②月末仕掛品の評価）				
5	総合原価計算③（単純総合原価計算③仕損・減損等の処理）				
6	総合原価計算④（工程別総合原価計算）				
7	総合原価計算⑤（組別総合原価計算）				
8	総合原価計算⑥（等級別総合原価計算）				
9	標準原価計算①（原価標準の設定・標準原価の計算）				
10	標準原価計算②（原価差異の把握と分析）				
11	標準原価計算③（勘定記入法）				
12	直接原価計算①（全部原価計算と直接原価計算）				
13	直接原価計算②（全部原価計算との差異・固定費調整）				
14	直接原価計算③（CVP分析・短期利益計画）				
15	総まとめ・総合問題				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『工業簿記・原価計算の基礎－理論と計算－〔第4版〕』	上埜進	税務経理協会	9784419064372	2017
教科書は、1年次の「工業簿記」で使用したものである。					
参考書	必要な場合は授業でとりあげる。				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	定期試験				50
	課題				35
	出席状況				15
学習到達目標	日本商工会議所簿記検定試験2級レベルの会計処理能力を身につける。また、製造活動に関する会計情報を活用できるようにする。				
先修条件	「工業簿記」が履修済みであること。				

実務経験	
その他	電卓を携帯すること（携帯電話を除く）。